

ペガサスの会の活動

(1型糖尿病患者家族会@新潟)

- ・ ペガサスの会（発足：約20年前）
 - ← 新潟大学小児科の先生方が小児糖尿病サマーキャンプを企画・運営（これまで30回）
初代会長は、新潟市西区平島のはしもと医院（小児科）の橋本謹也先生
2008年から、新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子細胞病理学分野 長谷川 剛が引き継ぐ（娘が1型糖尿病）
- ・ 引き継ぎ時の会員数18人 → 現在会員数 約40人（+ OG/OB 16人）
 - ←新規発症の患児の他、今まで不参加の新潟県内の患者家族を集めて

- ・ 活動記録（2008年夏～）
毎年夏の新潟小児糖尿病キャンプの他、
 1. 2008年夏（2008.8.23@万代市民会館）
企画：「チャプレン 斎藤 武 先生をお招きして」
「糖尿病キャンプに参加した子供たちから、“非常に楽しく、日常生活に戻りたくなかった”との感想が数多く聞かれた。チャプレン斎藤先生は、“家に帰ると『警察官』が常に監視・管理している状況があるからですよ”とコメント。」

 2. 2008年冬（2008.12.20@西新潟市民会館） ペガサス・クリスマス会
レクチャー：「どうして血糖値測るの？ -血糖測定値の活かし方-」
講師：新潟大学医歯学総合病院小児科 小川洋平 先生

 3. 2009年春（2009.4.4@万代市民会館） ペガサス春の会
企画1：小川洋平先生からのワンポイントアドバイス
「インスリン製剤の使い方・使い分けのコツ」
企画2：OB/OGを囲む会
「OB/OGからのプレゼント！貴重な体験談」

4. 2009年夏 (2009.8.29@万代市民会館) ペガサス夏の会
講演 インスリン治療とともに30年
— 患者さんたちとの出会いから教えられたこと —
講師：津田晶子先生 (木戸病院・内科)

☆☆☆ オプション ☆☆☆

11月14日の糖尿病デーに向けて、ペガサスの会および小児糖尿病サマーキャンプの様子を新潟総合テレビが取材・放映 (夕方ニュースの中で10分弱)

5. 2009年冬 (2009.12.26@万代シルバーH) ペガサス・クリスマス会
6. 2010年春 (2010.3.27@万代市民会館) ペガサス春の会
7. 2010年夏 (2010.8.28@万代市民会館) ペガサス夏の会
講師：自らが1型糖尿病の糖尿病看護領域
エキスパートナーズ 土田由紀子さん
8. 2010年冬 (2010.12.25@ろんどん亭) ペガサス・クリスマス会
9. 2011年春 (2011.3.19@万代市民会館) ペガサス春の会
講演 “1型糖尿病と家族”
講師：高知もみのき病院 岡田泰助先生
10. 2011年夏 (2011.9.11@万代市民会館) ペガサス夏の会
11. 2011年冬 (2011.12.17@Rococo) ペガサス・クリスマス会
12. 2012年春 (2012.3.14@新潟大学駅前キャンパス他)
“新潟小児糖尿病キャンプ30周年記念会”として
講師：聖徳大学児童学科 松浦信夫先生

(文責 ペガサスの会 長谷川 剛)

2012年度 ペガサスの会行事予定

1. 2012年6月 第1回 若い糖尿病患者さんの“であい”の会@新潟
2. 8月 新潟小児糖尿病サマーキャンプ
3. 夏 ペガサス夏の会
4. 秋 第2回 若い糖尿病患者さんの“であい”の会@新潟
5. 12月 ペガサス・クリスマス会
6. 2013年3月 ペガサス春の会

(文責 ペガサスの会 長谷川 剛)